

心に残る文化財子ども塾 出雲市立荒木小学校

1. 活動の概要

令和6年6月25日（火）、出雲市立荒木小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、ワークシートを使って奈良時代や荒木小の周りの歴史、遺跡について学習しました。また奈良時代の土器の実物を実際に見たり触ったりすることで、古代の出雲について身近にイメージをしてもらいました。

次に、大仏パネルづくりを行いました。まずクイズ形式で大仏の特徴や造られた背景について理解を深め、そして総数 188 枚のパネルをクラス全員が協力して組み立てました。体育館の床一面に実物大の大仏パネルを完成させ、その大きさについて実感してもらい、最後にパネルの上で記念写真を撮りました。

2. 活動の様子



学校の周りにはどのくらい遺跡があるかな？



これが本物の土器なんだ！



これは大仏のどの部分？



最後は大仏の上で記念撮影！

3. 活動を終えて

①児童の皆さんから

- ・みんなで協力して大仏パネルを組み立てたことが心に残った
- ・大仏が思ったより大きく、大仏を造ることの大変さがよくわかった
- ・本物の土器を初めて見た
- ・土器に実際に触ってみることができた
- ・勾玉や土器を作ってみたい
- ・島根の遺跡や古墳、歴史文化について知りたい
- ・古代の暮らしを体験してみたい
- ・出雲大社や神様、神楽についてもっと詳しく知りたい

②担任の先生から

- ・当時の出雲の様子や時代について、本物の土器に触れる体験などで歴史を身近に感じることができた
- ・自分たちが住んでいる出雲に古墳がたくさんあることなどを知ることができてよかった
- ・実物大のパネルで奈良の大仏を組み立てたことで、児童が大仏の大きさをイメージすることができた
- ・大仏パネルづくりでは、児童は大仏の特徴より完成時間に意識が向いていたので、手や頭の大きさにも注目するようにできればもっとよかった

③古代出雲歴史博物館から

前もって奈良時代のワークシートを配布して事前学習の資料とし、当日は授業の1時間前に学校に到着して大仏パネルの準備を済ませたことで授業をスムーズに進めることができました。本物の土器を間近に観察するのは初めての児童が多く、緊張した面持ちで手触りや重さを体感しました。大仏パネルづくりでは、クラスみんなで協力して短時間で組み立てることができましたが、改めて大仏の大きさを実感し、奈良時代の歴史や古代の出雲について興味・関心を高める機会となりました。

また、最後は児童のみなさんにもパネルの片付けに協力をしてもらい、時間内に授業を終えることができました。